

農政時流

第26号 / 平成23年 9月 1日発行

宮城県農業会議

宮城県担い手育成総合支援協議会

仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL / 022-275-9164

E-MAIL / 04miyagi@nca.or.jp

〈主な内容〉

- ② 東日本大震災への対応について
- ③ 主張「農業委員に期待すること」
- ④ 新役員紹介
常任会議員紹介

- ⑤ 市町村農業委員会会長紹介
- ⑥ 第21回農業委員選挙結果
- ⑦ 新任農業委員研修会
農の雇用事業



就任のごあいさつ

宮城県農業会議 会長 中村 功



去る8月11日に開催された第76回宮城県農業会議総会において、会長に選出されました中村功でございます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

3月11日の「東日本大震災」では、多くの尊い人命を失い未曾有の被害を受けましたことにあらためて哀悼の意を表し、お見舞い申し上げます。

本県農業にとっては、この大震災で多くの農地が作付け不能となり、農業用施設・機械等も甚大な被害となるなど多くの課題をかかえ、更には原発事故による影響も拡大していることから、今後も農業者の公的機関として復興に向けた取組を積極的に推進して参ります。

一方、国の行政刷新会議等の議論のなかで、農業委員会の在り方が論議されるなど、新たな農地制度の下で適正な委員会業務実施が強く求められております。

こうしたことから、本年度から新たに取り組んでおります「みやぎの農地と担い手を守り活かす運動」を通じ、皆様方とともに地域農業の活性化に向けた農業委員会組織の役割を着実に実践していくことが極めて重要となっておりますので、より一層のご協力・ご理解をお願い申し上げます。会長就任の挨拶といたします。

農業会議総会 ～新執行体制がスタート～

第76回総会を8月11日に仙台市青葉区「ホテル白萩」において開催しました。開会に先立ち、東日本大震災で犠牲となられた方々を追悼し、黙禱を捧げました。

総会では、来賓として宮城県知事（代理：千葉宇京農林水産部長）殿、宮城県議会議長（代理：小野隆副議長）殿から祝辞をいただきました。

議事の「平成22年度事業報告及び収支決算報告」について承認された後、任期満了に伴う役員選挙を行いました。立候補者が定数どおりで、満場一致で全員選任され新体制が発足しました。

引き続きの第1号会議員による常任会議員互選会では、地区から推薦のあった全員が選任されました。新役員は次のとおりです。

会 長	中村 功	(再：学識経験者)
副 会 長	秋山 耕	(再：登米市農業委員会)
	渡辺 憲二	(新：名取市農業委員会)
監査委員	佐竹 榮一	(再：涌谷町農業委員会)
	樋口 祝郎	(再：白石市農業委員会)
	佐藤武直夫	(新：岩沼市農業委員会)



東日本大震災への対応について

農業会議では、東日本大震災に対応し政府等に度重なる要請活動を実施するとともに、被災地域の農業委員会が早期に通常業務に戻れるように支援を行ってきました。

さらに、本会で事務局をもつ経営者4組織（認定協，法人協，稲作・養豚経営者組織）と連携し、農業復興に向けたセミナーや県選出国會議員との意見交換会等を実施しました。

主な内容は次のとおりです。

- 3月中 大震災に伴う農業委員会業務に関する情報提供・被害状況把握
- 4月8日 「早期営農再開支援センター」開設
- 4月12日 政府，県選出国會議員に「大震災に係る地域農業復興対策に関する要請」を実施
- 4月21日 農水省，会議所，被災3県農業会議による情報交換会
- 4月下旬 被災地域農業委員会との業務推進に係る巡回意見交換会
- 5月2日 被災地域の担い手との情報交換会
- 5月6日 避難所への「全国農業新聞」無料配布開始（44カ所500部）



被災地域農業委員会との意見交換会

- 5月12日 農業4団体（農協中央会，農業共済連，土地連，農業会議）で与野党，県選出国會議員に合同要請
- 5月26日 全国会長大会決議事項と県単独事項の支援対策について政府等に要請
- 6月1日 被災地域農業委員会との意見交換会（農水省，会議所等）
- 6月13日 県選出国會議員への農業4団体合同要請集会
- 6月17日 農業4団体で政府に合同要請
- 7月5日 農業4団体と政府与党との意見交換
- 7月29日 原発事故に伴う農畜産物に関する緊急要請
- 8月22日 放射能被害を考えるセミナー
- 8月27日 県選出国會議員との意見交換会

東日本大震災義援金が贈呈される

全国の農業委員会系統組織では、宮城県と農業委員が亡くなった市町に総額3千4百万円余の義援金を贈呈しました。

今回の義援金は、被災した地域の一日も早い復興を支援するため、農業委員の皆様をはじめ関係者による募金活動が実施され、全国で総額7千3百万円もの御厚志が寄せられました。

こうした系統組織の力強い御支援に対し心から御礼を申し上げます。



若生副知事に義援金目録を手渡す
全国農業会議所 太田会長と波多野副会長

放射能セミナーを開催

農業会議や県農業法人協会等は、8月27日に仙台市内で「放射能被害を考えるセミナー」を開催しました。

東日本大震災と併せて発生した福島原発事故は、広範囲に放射性物質を拡散させ、農畜産物にも汚染の拡大が懸念されています。

本県では、稲わら、牛肉から暫定基準値を超える放射性セシウムが検出され、県内産肉牛の出荷停止や23年産米の放射性物質調査など、農家にとって大きな問題となっています。

こうした中で、放射能被害について正しく理解してもらおうと企画したもので、当日は90名の農業者が参加しました。

宮城大学食産業学部の木村和彦教授から「土壌—植物系での放射性物質の動態について」と題して、県内の土壌や農作物の放射性物質の分布状況等が詳しく紹介されました。

木村教授は、土壌のセシウム濃度等から推測すると、今後収穫される県産米については、放射能の心配はほとんどないと見込まれることなどを、データを示しながら話されました。

また、磯井美葉弁護士からは「原発事故に伴う風評など損害賠償への対応」について、生産者自らが風評被害の状況を記録するなど手続き方法について助言をいただきました。



主張

「農業委員に期待すること」

東北農政局長

佐藤 憲雄



この度の東日本大震災により被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の

1日も早い復興をお祈りいたします。また、農業委員の中にもご自身が被災されたにもかかわらず、被災地の復旧・復興に向けて瓦礫の撤去、除塩、農地転用への相談等に日々ご尽力されていることに対し心から敬意を表します。

先般、宮城県では、震災復興計画案が策定されましたが、沿岸部を中心に甚大な被害を受けた地域の農業の復旧・復興に関しては、冠水した農地や損壊した用排水施設等の復旧を最優先で進めるとともに、広域的で大規模な土地利用や効率的な営農方式の導入、法人化や共同化による経営体の強化など、新たな時代の農業・農村モデルの構築を目指すこととされています。

特に、大規模な土地利用型農業を実現するためには、地域全体の土地利用調整や地域農業を支える認定農業者等への農地集積が重要となりますが、津波により集落機能が大きな影響を受け、仮設住宅に住まわれている農業者の方々の意見を集約し、合意形成を図る上で地域農業に精通し長年培ってきた人脈・経験を有した農業委員の皆様のご活躍なくしては成し得ないものと思います。

是非とも、農地の権利調整や被災した農業者の代表者として被災市町村の復興計画への意見の反映等において、農業委員の皆様の熱意あふれる活動により被災地からの目覚ましい復興が図られることを切に期待する次第です。

新 役 員 紹 介

会 長	副 会 長	副 会 長	監 査 委 員	監 査 委 員	監 査 委 員
					
農業会議常任会議員 宮城県議会議員 中村 功 (61)	農業会議常任会議員 登米市農業委員会会長 秋山 耕 (62) 農業委員：7期	農業会議常任会議員 名取市農業委員会会長 渡辺 憲二 (67) 農業委員：6期	涌谷町農業委員会会長 佐竹 榮一 (75) 農業委員：11期	白石市農業委員会会長 樋口 祝郎 (71) 農業委員：5期	岩沼市農業委員会会長 佐藤武直夫 (58) 農業委員：6期

常 任 会 議 員 紹 介

1号会議員

					
角田市 柄目 武雄 (77) 農業委員：11期	川崎市 大松 一男 (63) 農業委員：7期	仙台市 渡邊 龍彦 (69) 農業委員：9期	亶理町 土生 利昭 (77) 農業委員：9期	大衡村 堀籠 吉實 (61) 農業委員：6期	大崎市 鈴木 悟 (63) 農業委員：8期

				
加美町 兔原 伸一 (63) 農業委員：9期	美里町 磯田 敏幸 (68) 農業委員：5期	栗原市 門傳 仁 (59) 農業委員：7期	石巻市 高橋長一郎 (61) 農業委員：5期	気仙沼市 吉田 昭則 (71) 農業委員：5期

2号会議員

3号会議員

5号会議員

					
宮城県農業協同組合中央会 菅原 章夫 (68)	宮城県農業共済組合連合会 浅野 衛 (69)	宮城県農業公社 真木 伸治 (60)	宮城県土地改良事業団体連合会 千葉 敬記 (65)	宮城県農業法人協会 阿部 雅良 (56)	宮城県認定農業者組織連絡協議会 高橋 幸三 (58)

6号会議員

				
宮城県市長会 井口 経明 (65)	宮城県町村会 伊藤 拓哉 (72)	全国共済農業協同組合連合会宮城県本部 後藤 正彦 (57)	全国農業協同組合連合会宮城県本部 千葉 和典 (58)	みやぎアグリレディス21 伊藤 恵子 (58)

市町村農業委員会会長紹介

役員・常任会議員を除く。

 蔵王町 平間 博 (56) 農業委員：3期	 七ヶ宿町 太田 幸一 (65) 農業委員：7期	 大河原町 丸山 孝雄 (76) 農業委員：6期	 村田町 大沼 善明 (62) 農業委員：3期	 柴田町 平間 弘 (73) 農業委員：4期	 丸森町 菅野 範夫 (63) 農業委員：6期
--	--	--	---	--	---

 塩竈市 島津 功 (71) 農業委員：3期	 多賀城市 伊藤 政幸 (59) 農業委員：4期	 山元町 齋藤 正直 (71) 農業委員：4期	 松島町 安住 嘉雄 (66) 農業委員：6期	 七ヶ浜町 渡辺 庄哉 (76) 農業委員：5期	 利府町 小松 一雄 (69) 農業委員：4期
--	--	---	---	--	---

 大和町 文屋 芳光 (61) 農業委員：3期	 大郷町 大友 仁一 (63) 農業委員：4期	 富谷町 青木 証幸 (69) 農業委員：6期	 色麻町 堀籠 勝恵 (58) 農業委員：6期	 東松島市 川田 利雄 (70) 農業委員：9期	 女川町 佐藤 長六 (74) 農業委員：9期
---	---	---	---	--	---

 南三陸町 遠藤 重幸 (61) 農業委員：6期
--



国が支える 安心が大きくなる

担い手積立年金

農業者年金 [愛称]

第21回農業委員選挙結果

～ 女性委員・認定農業者が増加 ～

東日本大震災の特例措置で延期された11市町を除く16市町村において、7月10日に農業委員選挙が実施されました。特例措置が適用された市町では、任期が最長1年延長され、平成24年7月までに選挙が実施される予定です。

今回の選挙で投票が行われたのが3市町（4選挙区）で、残りの13市町（44選挙区）は無投票で農業委員が選出されました。

選挙の結果、県内の農業委員の総数は平成20年改選時の729人から708人（2.9%減）となりました。内訳として、選挙委員は547人から14人（2.6%）減の533人、選任委員は182人から7人（3.9%）減の175人となりました。

今回の選挙によって90人が新しく農業委員になりました。

また、女性農業委員は18市町村の37人から23市町村51人（委員全体の7.2%）に14人増加し、認定農業者の農業委員も20人増の289人（委員全体の40.8%）となりました。

全体的に農業委員の定数が減少している中で、女性農業者・認定農業者等多様な人材が増えたことは、今後の農業委員会活動の強化と活躍が期待されるところです。

私たち系統組織は、今年度より新たな農地制度の適正な執行と農業委員会活動の一層の強化をめざして、「みやぎの農地と担い手を守り活かす運動」を推進しております。

農業委員の皆様においても、農業者の公的代表としてその役割を再認識して、積極的に「地域で目に見える活動」の取組を行っていただきますようお願いします。

農業委員の現状

平成23年8月1日現在

農 業 委員会名	選 挙 委 員		選 任 委 員		委 員 総 数			
	定数	うち 女性	うち 女性	うち 女性	うち 女性	うち 認定 農業者		
白石市	12	12	0	5	0	17	0	3
角田市	15	15	0	5	2	20	2	8
蔵王町	9	9	0	4	1	13	1	3
七ヶ宿町	7	7	3	3	0	10	3	4
大河原町	9	9	0	4	0	13	0	4
村田町	8	8	0	4	0	12	0	3
柴田町	10	10	0	4	1	14	1	6
川崎町	8	8	0	4	1	12	1	1
丸森町	11	11	1	5	0	16	1	10
仙台市*	30	29	1	7	1	36	2	9
塩竈市*	5	5	0	2	0	7	0	0
名取市*	18	17	0	6	3	23	3	11
多賀城市	10	10	0	4	0	14	0	7
岩沼市*	14	13	0	7	0	20	0	7
亘理町*	20	20	0	6	2	26	2	11
山元町*	12	11	1	3	0	14	1	6
松島町	10	10	0	5	1	15	1	5
七ヶ浜町*	8	8	0	5	0	13	0	5
利府町	10	10	0	5	2	15	2	3
大和町	10	10	0	6	3	16	3	4
大郷町*	12	12	0	4	0	16	0	6
富谷町	8	7	0	4	1	11	1	3
大衡村	11	11	2	4	1	15	3	7
大崎市	40	40	3	10	3	50	6	35
加美町	18	17	1	6	1	23	2	12
色麻町	7	7	0	5	1	12	1	7
涌谷町	13	13	0	5	2	18	2	8
美里町	15	15	1	5	1	20	2	10
栗原市	40	40	1	6	3	46	4	24
登米市	40	40	3	8	2	48	5	24
石巻市*	40	36	0	7	0	43	0	22
東松島市*	16	15	0	5	0	20	0	9
女川町*	10	9	0	2	0	11	0	0
気仙沼市	28	27	0	6	0	33	0	9
南三陸町	12	12	0	4	2	16	2	3
合 計	546	533	17	175	34	708	51	289

■ : 7月改選が行われた委員会

*印: 特例適用により選挙が延期された委員会

新任農業委員研修会

農業会議では、新任農業委員研修会を8月23日に仙台市で開きました。

はじめに、全国農業会議所農地・組織対策部の榊原喜久考査役から「農業委員会をめぐる情勢と期待される役割」と題して、農業委員会制度の概要やその役割に加え、制度見直しへの動き等について詳しく説明がありました。

また、県農業振興課の担当者からは、農地転用をはじめ、農地の権利移動の手続きなど、農地制度の基本的な仕組みについて説明を受けました。



最後に、全国農業新聞・全国農業図書の購読と、農業者年金の加入推進についてお願いしました。

参加した約100名の新任農業委員の皆さんは、地域における「世話役」活動への決意を新たにしていました。

おめでとうございます

本会関係者で次の方々が、このたび叙勲・表彰の栄に浴されました。

《春の叙勲》

● 旭日双光章

八 卷 章 一 氏

元七ヶ宿町農業委員会会長
元宮城県農業会議監査委員

《農林水産大臣表彰》

佐 竹 榮 一 氏

涌谷町農業委員会会長
宮城県農業会議監査委員

《農山漁村女性・シニア活動表彰》

最優秀賞（農林水産大臣賞）

● 女性地域社会参画部門

芳 賀 よみ子 氏（登米市）

元宮城県農業会議常任会議員

● 女性起業・経営参画部門

鈴 木 春 江 氏（栗原市）

農業委員

農の雇用事業

～ 23年度第1回募集 ～

全国農業会議所が実施する「農の雇用事業」の平成23年度第1回募集が行われ、県内で16法人・19名の研修生が採択されました。

今回は、昨年11月から今年6月までに正規従業員を雇用した農業法人等に対して、研修費用9万7千円/月を最長1年間助成するものです。

今年度から、法人の場合は厚生年金と健康保険への加入が必須要件になるなどの改正が行なわれています。

なお、第2回募集が10月頃に行われる予定です。



青色申告・集落営農関係図書も絶賛発売中です!!
お申込みは市町村農業委員会・県農業会議まで

かけはし「がんばる農業委員」



丸森町農業委員会 大橋 光子 委員

経営内容：林業 + 水稲 5ha (作業受託含む)

就任回数：3期目 (選挙) みやぎアグリレディス21

議会推薦による選任委員を2期務め、今回の改選では地区選出委員2人のうち1人として選挙委員に立候補しました。3期目の就任となり自分でも驚いていますが、周りの理解と協力があったとのことだと感謝しております。

農業委員会では耕作放棄地を解消しようとパトロールや呼びかけをしていますが、現在の耕作放棄地は山間の耕作しにくい場所がほとんどです。耕作を再開するにしても、再び耕作放棄地とならないような作目の選定が必要だと思います。

東日本大震災で丸森町は、沿岸部の津波のような大きな被害はありませんでしたが、福島県に隣接しているため原発事故の影響が大きいです。福島県飯館村からの原発避難者も来ており、町内に農地を借りて農業を再開する人も出ています。

新任の委員さんには、分からないことは分からないままにしないで、何でも聞いてほしいです。女性が一人だと周りに聞きづらいこともありますから、みやぎアグリレディス21のような女性同士の横の連携も大切です。

☆お知らせ☆

○東日本ブロック農業委員会職員現地研究会

10月6日(木)～7日(金)に東京都内で開催されます。農業委員会事務局が直面する諸課題の解決に向けて情報交換を行います。

○みやぎ農業見聞のつどい

10月22日(土)に東北地方の新規参入農業者を視察します。これから宮城県内で農業を始めたい人30名の参加を募集しています。申込は10月7日までに(財)みやぎ農業担い手基金(電話番号022-264-8238)へ。

○全国農業担い手サミット

11月15日(火)～16日(水)に長野県松本市を中心に県下11会場で開催されます。担い手が築く元気な農業、豊かな地域のために、熱く語り合いましょう!

○第55回宮城県農業委員大会

11月22日(火)午後1時より大和町「まほろばホール」で開催します。

詳しくは後日農業委員会を通じてお知らせします。農業委員の皆さんの積極的な参加をお願いします。

○全国農業委員会会長代表者集会

12月7日(水)に東京都砂防会館で開催され、併せて本県選出国會議員に対し要請活動も行う予定です。

○担い手を支援する専門家派遣

宮城県担い手協議会では、認定農業者や集落営農組織等の担い手が行う、経営の多角化や高度化、法人化に向けた取り組みに対して、専門家が直接現地まで伺い、指導支援を行います。

募集期間：平成24年2月末日まで

相談料：無料

専門家：税理士、司法書士、中小企業診断士、社会保険労務士、農産加工、デザイン開発

申込み先：各地域担い手協議会まで

問合せ先：県担い手協議会

(電話番号 022-275-9164)

○定例開催の行事日程

行事名	常任会議員 会 議	農業者年金 相 談	若 年 者 就農相談	就農相談
場 所	ホテル白萩	J Aビル	パルコ	J Aビル
9月	14日	13日	8日	20日
10月	17日	11日	13日	18日
11月	14日	8日	10日	15日
12月	14日	13日	8日	20日
1月	17日	10日	12日	17日
2月	14日	14日	9日	21日
3月	14日	13日	8日	21日